

# 電子講義実例 (関西医科大学)

第1部講師：松田公志先生講義資料

## 関西医科大学

令和3年12月16日(木) 15:00~16:30 対面開催

講師：河野恵美子先生(大阪医科薬科大学 一般・消化器外科)

松田公志先生(関西医科大学附属病院院長)、前川宙貴先生(弁護士)

4年生対象

127名参加

時間(所要時間)	講義の展開	参照先
15:00~ (3分)	資料確認、講師紹介	
15:03~ (25分) 【説明(第1部①)】	講師 河野恵美子先生(大阪医科薬科大学) 1. 自分自身のキャリア 2. 医師の働き方改革のあゆみ 3. 外科医の労働環境 4. 女性医師の現状 5. 過労死 6. なぜ働き方改革が必要なのか	
15:28~ (25分) 【説明(第1部②)】	講師 松田公志先生(関西医科大学附属病院院長) 1. 医師の時間外労働 2. 医師の働き方改革 3. チーム医療における医師の役割 4. 女性医師の活躍 5. ITの活用=スマート病院化 6. 関西医科大学の取り組み	P77~P86
15:53~ (6分)	質疑応答、第1部まとめ	
15:59~ (30分) 【説明(第2部)】	講師 前川宙貴先生(弁護士) ● 基本的には講義用資料に基づき内容を説明 労働者性、労働契約、労働時間、両立支援制度	P245~P257
16:29~ (1分)	アンケート回答のお願い	

多職種連携

# 関西医科大学附属病院について チーム医療における医師の役割

附属病院長  
松田公志



 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 関西医科大学附属病院

- 病床数：751床
- 1日平均入院患者数（令和3年度）：736人
- 稼働率：98.1%
- 1日平均外来患者数（令和3年度）：2,132人
  
- 診療科数：46
- 集学的診断治療センター：7
  - ハートセンター、脳卒中センター、腎センター、小児医療センター、難病センター、アレルギーセンター、痛みセンター
- 職員数：総計2,518名
  - 医師：422名、看護師：900名、技術職：264、事務職：93名、臨時職員313名
  - 業務委託、派遣社員：523名



 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 関西医科大学附属病院

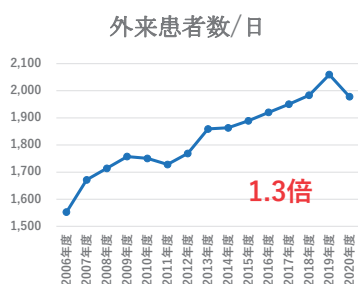
- 特定機能病院
- 高度救命救急センター
- 総合周産期母子医療センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- がんゲノム医療連携病院
- 大阪府災害拠点病院
- 大阪府アレルギー疾患医療拠点病院
- 大阪府難病診療連携拠点病院
- 大阪府エイズ治療拠点病院
- 大阪府外国人患者受け入れ地域拠点医療機関



 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 関西医大附属病院の発展

- 2006年新築開院以来、患者数、手術件数の増加



関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 働き方改革

- 日本人男性の正規雇用労働者の労働時間は世界一長い。  
(2014年：働き方改革ラボ)



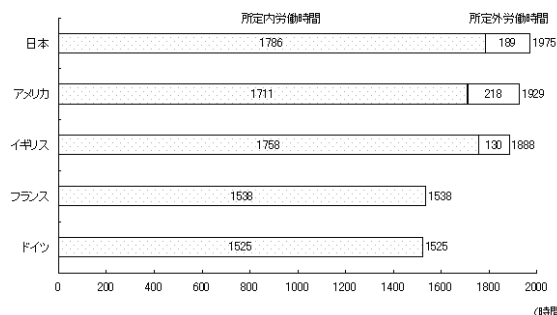
働き方改革実行計画：2017年

- 2019年から、時間外労働時間年720時間以内。



- 医師も一律に適応して、国民の健康は守れるのか？

医師には5年間の2024年まで猶予

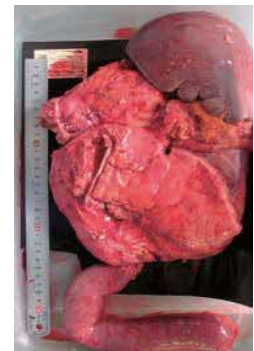
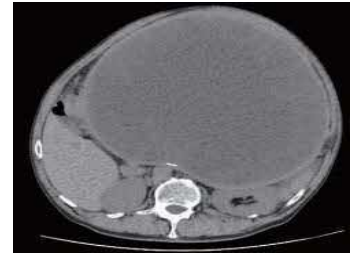


年間総労働時間の国際比較（製造業、2003年）厚生労働省

関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 医師の時間外労働

業務	月間時間外労働時間
カンファレンス：8時 - 9時	23時間
夕方回診、カルテ記載毎日：17時 - 19時	46時間
手術延長	8時間
当直週1回：17時-翌朝8時	64時間
日直月1回：9時 - 17時	8時間
他病院当直月に1回	16時間
計	165時間



褐色細胞腫  
手術：9時 - 24時  
術後管理：2時間

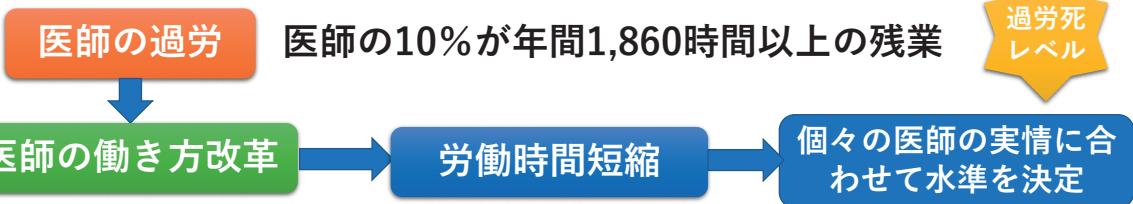
時間外労働時間：9時間



医師の働き方改革

関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 医師の働き方改革



チーム制診療導入
特定看護師
医師事務作業補助員
看護助手増員
2交代制・フレックス制
IT化・ロボット導入

水準	年間時間外労働 (2024年)
A	960時間以内
B	地域医療を確保するために 1,860時間以内
連携B	自院は960時間以内 派遣先含めて1,860時間以内
C1	研修のために1,860時間以内
C2	高度医療技術習得のために 1,860時間以内

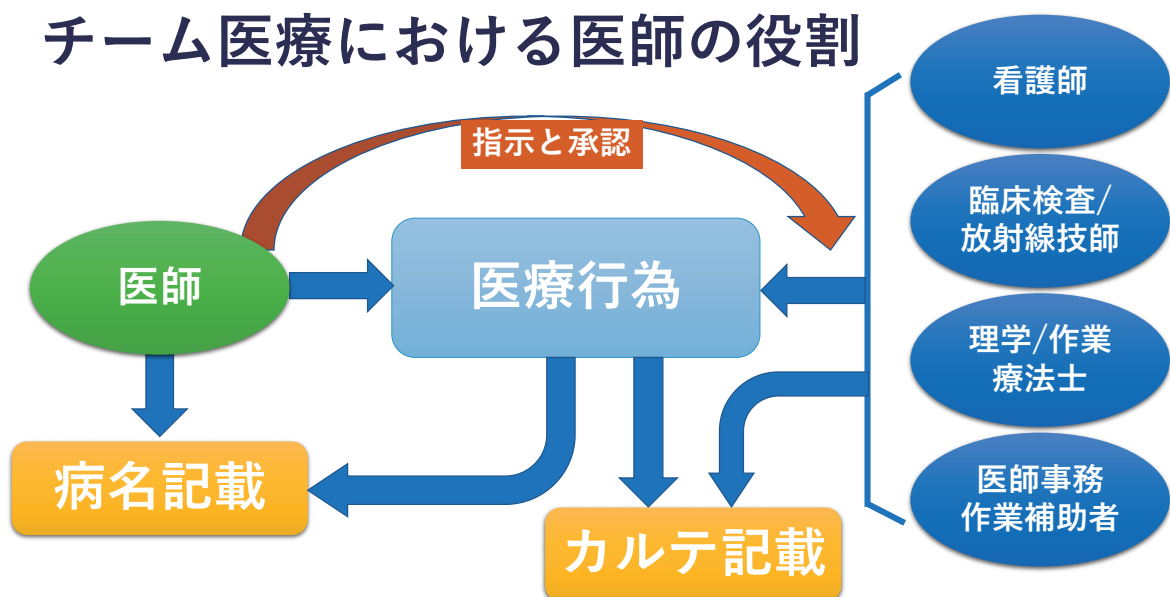
2035年に  
全員A水準  
短縮計画

関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 病院での医療：チーム医療



## チーム医療における医師の役割



医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

## 1. 医師を増やす

医学部定員臨時増：主に地域枠

附属病院医師数：422名

医師定員増：令和4年10名

一人主治医制からチームでの診療へ

- 1人で5人の患者を担当⇒3人で15人を担当
- 分担による効率化と時間外勤務短縮

女性医師の活躍

- 女性医師が仕事を継続しやすい環境を提供

 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

## 女性医師の活躍を目指して

短時間正職員制度

- 出産育児期間中に適した勤務を選択

ベビーシッター利用者支援

- 利用券配布

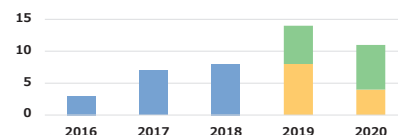
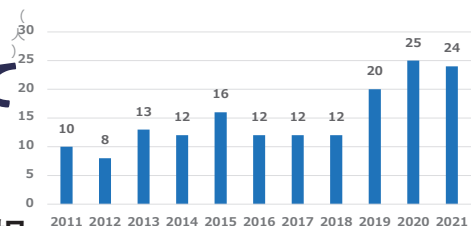
オール女性医師キャリアセンター

- 労働環境の整備、講演会、相談会

女性管理職医師増

- 女性医師の割合：全体で3割、講師以上1割

 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL



医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

## 2. タスクシフト

看護師

カテーテル留置  
注射・点滴  
投薬 etc

救命救急士

救命センター  
での業務

薬剤師

投薬内容・副作用  
説明

医師事務  
作業補助者

カルテ記載 etc

臨床工学  
技師

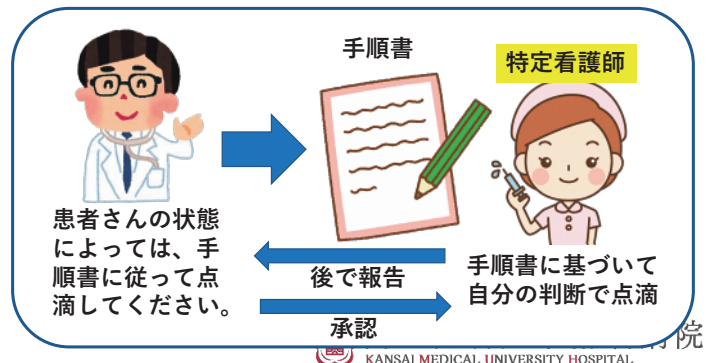
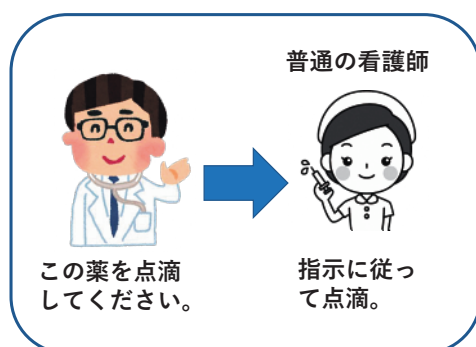
内視鏡手術の  
カメラ保持

医師の直接指示のもとに

 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

## 看護師特定行為研修

- 1年間の教育課程
- 医学の基礎知識（e-learning 165時間）+ 医行為の演習19時間 + 臨地実習75例
- 医師の指示のもとに、**看護師の判断**で、医師があらかじめ指示した手順書に基づいて医行為を行うことができる。





## 関西医大附属病院の特定看護師

- 年間に40名の看護師を対象に特定行為研修を実施
  - 病院としては全国最大規模のひとつ
  - 術中麻酔管理領域パッケージ
  - 重症患者管理コース
- 現在36名の特定看護師が勤務
  - 全国の病院で最多

区分	特定行為区分	特定行為	重症患者管理コース	術中麻酔管理領域PG
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	○
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	○
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	○	○
9	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	○	
13	動脈血ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	○	○
15	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	○	○
18	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整		○
19	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	○	
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	○	
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	○	
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	○	○

## 看護助手

患者の世話および看護師の補助を行う。

- 仕事内容
  - 患者の世話：患者の移動の補助、着替え、入浴・食事・排泄介助など。
  - 看護師の補助：医療機器の片付け、洗浄など。
  - ベッドシーツ交換、検体搬送など。
- 国家資格ではない。
- 一定の数を確保することが推奨されている。



医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

## 医師事務作業補助者＝メディカルクラーク

- ・ クラークの業務
  - ・ カルテ記載
  - ・ 検査オーダー
  - ・ コピーペーストによる処方など
- ・ クラーク統括室
  - ・ 2013年8月1日設置

	2013年 8月	2017年 7月	2021年 12月
クラーク 人数	30人	42人	67人



メディカルクラーク

 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

## 3. ITの活用＝スマート病院化

- ・ AIの導入
  - ・ 放射線診断、病理診断、AI問診
- ・ 内視鏡手術画像の電子カルテへの配信
- ・ 搬送ロボットの導入
  - ・ 物品搬送
  - ・ 車椅子の自動走行
- ・ 診療スマートフォン導入
  - ・ 電子カルテをスマートフォンで院外からも見える。
  - ・ 音声入力
- ・ 事務作業の自動化
  - ・ ロボット化（RPA）、クラウド化。



 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

医療崩壊を起こさない医師の労働時間短縮

## 医師働き方改革：関西医大病院の取り組み

- 医師増員
- 女性医師活躍基盤：オール女性医師キャリアセンター
- 医師の仕事のタスクシフト
  - 看護師特定行為研修の推進⇒特定看護師の活躍
  - 多数のメディカルクラーク導入
- 病院のスマート化
  - ITの力で医師の働き方改革
  - より質の高い医療を効率よく提供する仕組み

 関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL



関西医科大学 モデル講義の様様